

雪印サプリメントのご紹介

ターボライザー20



乳脂率、繁殖成績、周産期病
が気になる方へ

給与量 育成牛・・・25～50g/日・頭
乳牛・・・100g/日・頭

- 家畜の繁殖に関するビタミンA・Eを高濃度に含有しています。
- 乳および乳脂肪生産、ケトシス予防に関するナイアシン、肝臓での脂質代謝に関与するコリン、繁殖に関与するパントテン酸などのビタミンB群を豊富に含有しています。
- 蹄の健康に関与するビオチンを含有しています。

イチバンE



乳質が気になる方へ

給与量 育成牛・・・25g/日・頭
搾乳牛・・・50g/日・頭
乾乳牛・・・30～50g/日・頭

- ビタミンA・Eを高濃度に含有する混合飼料です。
- セレンリッチな酵母を添加しています。セレンはビタミンEと同様に酸化の攻撃から組織を保護する作用を持っています。
- 硫酸亜鉛メチオニンを含有しています。

よかビタMマッシュ



日常飼料給与の
ベースビタミン・ミネラル剤に

給与量 25～50g/日・頭

- 乳牛に必要なビタミン、ミネラル、アミノ酸をバランス良く配合しています。
- 搾乳牛、乾乳牛を問わず、給与出来ます。
- TMRや自家配などに添加混合し易いマッシュタイプです。

ペプチドエース



蹄の健康、繁殖成績、乳房の
健康が気になる方へ

給与量 50g/日・頭

- 有機ミネラル、ビタミンを含有した混合飼料です。
- 微量ミネラルの役割
 - 亜鉛・・・皮膚や蹄の保全、ケラチン合成に関与。
 - マンガン・・・軟骨形成、創傷治療。
 - 銅・・・血管組織の強化、ケラチン合成に関与。
 - コバルト・・・蛋白合成、エネルギー代謝に関与。
 - セレン・・・抗酸化作用で組織を保護。
 - ヨウ素・・・エネルギー代謝、発情ホルモンに関与。

分娩後日数	泌乳後期	乾乳前期	のロースアップ期	産褥期	泌乳初期
0	7	39	53	60	80
乾乳日数70日以下 乾乳日数でBCSを2.25～3.5 に調整、4.0以上しない。 乾乳数高 乳房乾燥 前降	産褥期の栄養 ①乾物・ルーツ・容積の拡張・維持。スムーズな乾物採取量増加。 ②蛋白質・脂肪の蓄積。健全な乳腺形成と行動代謝機能の維持。 ③ケラチン・コラーゲン・角質の維持。適切なエネルギーの供給。 ④ビタミン・ミネラル：免疫機能の維持。生殖機能を助ける。	目標 乾乳日数40～60日 ◎肥満を避ける。 ◎低カロの良質粗飼料を給与する。 ◎無葉期を運動させる。 ◎太らせない。復させない。	カルシウム剤給与 (注1) グリセリン給与 (注2)	乳量 乾物採取量 休息	①エネルギー・バランスはマデックスとなり、BCSは低下する。 ◎BCSを低下を最小限に止める。
乳頭シールド ビタミン強化(泌乳最盛期まで) 乳頭シールド 初回復元の開始					
乾乳日数 給与粗飼料のK含量 が高い場合 一般乳配 2～3t O.P. トランス70t 2～3t カルシウム剤の給与が必要		スノードライバランス 4kg イオンバランス(DCAB)調整乾乳期用配合飼料		◎粗飼料の食込み、糞の状態に留意しながら、 配合飼料の給与量を上げる(30g/日)。 ◎粗飼料が先だめない中で、更に栄養濃度を上げた場合は、 サプリメントを使用する。	
イネ科主体の低K 粗飼料給与の場合		トランスプロ19 4kg 低Ca含量乾乳期用配合飼料(有機ミネラル配合)		イオンバランス調整をしていないので、分娩前後も給与可能。 但しCa含量が高いので、別途、カルシウム剤の給与が必要。	
サプリメント		イチバンE 30～50g (ビタミンA・E・セレン酵母) よかビタMマッシュ 20～50g (ベースビタミン・ミネラル剤) ペプチドエース 50g (有機ミネラル・ビタミン剤)			
					ターボライザー20 100g (ビタミンA・E・ビオチン・ナイアシンコリン) → スノーマックス90 2kg (イオンバランス・ビタミン・ミネラル) → ユニット・ケラフィット (蛋白分解・バランス調整) →
(注1)	分娩前後に牛の耳を触ってみましょう。冷たく感じたら、血中Ca濃度が低下している疑いがあります。吸収の良いカルシウム剤を分娩当日、分娩直後、更に翌日に各1本(600ml)給与します。				
(注2)	適量を中心にグリセリンの経口投与、あるいは飼料へのトップレスを行います。300～500mlを分娩直後より7日間、分娩前の食が細い場合は分娩前から給与します。 【飼料】 飼料得ケリセリン85-S				

雪印種苗株式会社

編集発行人 岡村 一範
 本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号
 TEL (011)891-5911
 FAX (011)891-5774